

平成25年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)

実施報告書

HT25152 光と色を武器に、ブラックホール天体へ挑もう！



開催日：平成25年8月9日(金)
平成25年8月10日(土)

実施機関：大阪教育大学
(実施場所) (柏原キャンパス C1-303、天体観測室)

実施代表者：福江 純
(所属・職名) (教育学部・教授)

受講生：高校生19名

関連 URL：<http://quasar.cc.osaka-kyoiku.ac.jp/~fukue/>

【実施内容】

・工夫点、留意点

プログラムでは、ブラックホール天体現象について、講義・実習・観測の3本建てで、関心と理解を深めるようにした。充実した内容にするために、2日間にわたって実施した。

・スケジュール

1日目：13:00 受付、13:30 開講式、14:00 導入的講義、(自己紹介)、15:30 実習、16:30 観測の講義、
18:00 夕食と歓談、19:00 望遠鏡(51cm他複数台)を用いた天体観察～21:00まで
2日目：10:00 マカリの説明、10:30 データ処理実習、12:00 昼食と歓談、13:00 データ処理実習、
14:00 結果の解釈と議論、15:00 修了式、15:30 全日程終了

・実施の様子

1日目の実習では、光のスペクトルと、星のスペクトル分類に関する実習を行った。

夜はやや曇りもあったが、51cm望遠鏡その他で観測をした(写真上)。

2日目の実習では参加者が分担して処理したデータを集計して、参加者各自がグラフ化し、何が読み取れるか議論した(写真下)。



・事務局との協力体制

学術連携課がJSPSとの連絡、受付対応、参加者との事前連絡、実施代表者との連絡調整、実施期間中の庶務、事後の事務処理等について、支援・協力を行った。財務課が委託費の管理と支出報告書の確認を行なった。

・広報体制

企画課が本事業に関するHPを大学のサイトに掲載した。

学術連携課が近隣の高校へ案内を郵送した。

・安全体制

夜まで実施した1日目は実施者が駅まで引率した。

・今後の発展性、課題

1日目に実施したスペクトル分類は、ご褒美が思わず好評だったので、さらに工夫したい。

今年度も希望者は多く、ほぼ定員いっぱいとなった。

できれば、パソコンを増やして、より考える実習を行いたい。



【実施分担者】

松本 桂

教育学部・准教授

【実施協力者】

6名

【事務担当者】

角間 智子

学術連携課研究協力係

